

十神山



会報 安来節

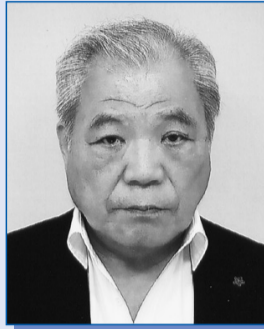
YASU GI BUSHI

発行所 安来節保存会

〒692-0064
島根県安来市古川町534
TEL 0854-28-9988
FAX 0854-28-9393
http://www.y-hozon.com/
E-mail:admin@y-hozon.com

上位昇格者

准名人(二名)



田中輝夫
絃の部(松江)



山本英三
唄の部(広島東)

11月14日に開催された安来節保存会代議員会において、令和5年度の上位昇格者と表彰者が報告されました。
今回、准名人に2名、大師範に17名の方が昇格されました。
おめでとうございます。
来年の1月9日(月・祝)の唄い初め会において、免状・表彰状の授与と昇格披露を行います。

大師範(十七名)

安達順子(本部道場) 田中美幸(本部道場) 林俊佳(加茂) 吉川静樹(神門) 踊川満代(益田) 唄小椋実(松江) 唄小谷実(松江) 銭太鼓佐藤治彦(松江) 絃安達哲彦(松江)

下谷勲(広島東) 下地重利(神戸) 斎藤政昭(関東) 踊斎藤正男(東京) 絃榎正男(東京) 唄榎本文子(東京) 絃松本文子(東京) 銭太鼓角田恵子(東京)

(代議員会資料名簿順)

会員表彰者

(四十五名)

石原良子(本部道場) 内田牧子(本部道場) 一宇川ゆき(本部道場) 国重香菜子(本部道場) 高橋佐喜子(神門) 小田泰子(湖陵) 加瀬清人(湖陵) 岡和敏(大社) 多和田耕吉(大東) 伊藤征人(益田) 森川美佐子(松江) 佐藤正高(尾高) 長尾和幸(東伯) 山田友久(米取) 白井博子(米中) 国博造(江島能美) 森野津子(江島能美) 後藤子(江島玉実) 茶道下ケイ子(広島東) 茶堂清子(広島東) 大橋つる代(広島南) 古家邦夫(神戸) 永井孝馨(神戸) 高木文昭(静岡) 伊藤昭子(静岡) 小川雄夫(東海) 居川雄夫(東海) 小川繁(東海) 古川信(大根) 西川行(大根) 小川克廣(大根) 中山裕代(大根) 山崎礼彦(大根) 内田節子(大根) 黒澤金子(東京)

(代議員会資料名簿順)

所感



専務理事
内田修次

保存会の現状

安来節保存会は、明治四十四年に創設され百十一年経過しています。支部数は今年二支部廃止となり、全国で五十五支部、会員数は約二千二百名、少年の部を除いた一般会員の平均年齢は六十八歳となっています。少子高齢化に伴い、会員数も毎年百五十名〜二百名程度は減っています。
また約三年間、新型コロナウイルスの感染拡大により、保存会事業も中止や縮小開催を余儀なくされ影響を受けてきました。この間、会員の皆様も練習がままならず、支部の団結力を維持されるのも大変ではなかったかと思えます。令和五年こそ、通常の事業に近い形で開催できることを望んでいます。
十一月二十日には、五十組の若い会員の皆さんによる「安来節交流会」が安来節芸芸館で開催されました。今後の保存会を担っていく方達にエールを送りたいと思います。

表彰制度について

安来節保存会表彰内規に「本会事業に功労があった者で、十年以上在籍する者」と規定されており、毎年、唄い初め会の式典で四十名〜五十名程度表彰しています。これは会員の皆様の誇りとなることであり、モチベーションを高める上で大切なことであると思っています。本部道場をはじめ、各支部で独自に表彰してられる支部もあると聞いており、まさに支部の活性化のために良い活動であると思います。一度に多数の申請があった支部もありましたが、それは例外として、該当される方があれば支部推薦をよろしく願います。

上位昇格者推薦について

師範までは資格審査がありますが、大師範、准名人は資格審査委員会において、名人は名人審議会で審議されます。

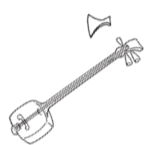
この内、名人については准名人から何年経過していないと支部推薦できないなど申し伝えがあるように伺っています。規約には、「技術最も高潔にして、長年本会の育成発展に顕著な功績があった者」となっており、高齡になつてからではなく、技術、人格、保存会への貢献度を考慮していただき、機会を逃すことなく支部推薦していただければと思います。名人誕生は、保存会にとっても大変喜ばしいことであり、更なる発展につながるよう期待したいと思えます。

役員定年について

役員は、理事、監事、資格審査員、指導部員等が該当すると思えます。安来節保存会は任意団体の組織です。個人差もありますが、加齢により役職上の責務に支障をきたす場合もあります。組織の発展は、次の世代につなぐためにも世代交代を図り、バランスの取れた形が望ましいと思えます。役員については、一定の定年年齢を求めていくことも必要ではないでしょうか。

近年の取り組みとして、「熟年師範」階級新設、「青年会員」新設、少年の部受審規定の改正などしています。所感を述べましたが、今後も会員の皆様のご意見ご要望をお聞きし、組織運営をしていきたいと思っておりますので、ご意見をお待ちしています。

私と安来節



老いて楽しむ 安来節



伊藤 馨
(静岡支部)

人生百年時代で、生涯学習が奨励される昨今、老いて「昨晩は何を食ったか」を忘れる脳でも不思議なことに十数年前のことを克明に思い出す。

趣味の一環として、学び始めた安来節の一日講座から諸々の課程を得て、現在に至った十六年間をつぶさに振り返ってみます。

それは、平成十九年九月十五日の「どじょうすくいに挑戦」のカルチャー広告を見て、本場島根の講師・安来節保存会資格審査員の濱崎正人先生の「芸を学ぶ」この言葉が魅力で、八十歳の老体が一日講座に出席し、これを契機に月二回の三ヵ月コースで、どじょうすくい踊りの基本動作を習得し、次の三ヵ月コースは徐々に格上げの所作に入り、どじょうすくい踊りは、歌詞の意味を形に表す種類のものではなく、写実的でユーモラスがあり、唄のリズムに合わせて、どじょうすくいを所作をするもので、上品さを追わず、中腰で独特な歩き方について、入念な指導を受けました。

どじょうすくい踊りの所定コース終了を期に「調子三年勘八年」の言葉通り難しいと言われる三味線の伝授を懇願し、承諾を得て、師匠宅で六ヵ月、

掛川教室に合流して一年四ヵ月の指導を受け、これが現在の基礎となっております。師匠宅での稽古はJRを利用して乗車一時間、着駅から師匠宅までマイカーの送迎に預り、身に余る待遇と労を惜しむことなく懇切丁寧な指導を受けました。老体は、記憶するのに苦慮し、その手法の一助として三味線音符作成と口三味線に初挑戦し、その効果を痛感して以来、日常生活でも、その都度メモをとっております。

平成二十一年三月七日に、静岡支部が創立されると同時に入会して十三年になりました。健康面では、大病することもなく歳を重ねて五黄の寅年の今年、九十六歳を迎えました。

確たる目的を持たず進めてきた安来節ですが、中断することもなく今日に至った事由は、師匠の卓越した指導のもと、師匠間はもとより常に良好な雰囲気の中で稽古が持続できたことに尽きます。

そもそも老体は、シャイな性格ながら好奇心旺盛で多趣味な傾向にあり「下手の横好き」に類し、ひたすら貪欲に押し進める中で、極度の「上がり性」でもあり、緊張の余り予期せぬ事態となった苦しい体験を二度、何れも資格審査で味わっております。後期高齢の域にあって、心身共に減退を感じながら楽しみを主として稽古をしてきた種目の審査を受けております。

その結果は、令和四年五月現在、絃・熟年師範、踊・師範、錢太鼓・三段の取得をしております。

今後、体力、気力の許容範囲で楽しく稽古を継続する所存です。

会員の声コーナー

「民謡民舞 全国大会」 安来節と 錢太鼓で出場



一字川 普
(大江戸支部)

令和四年十月二十七日～三十日、神奈川県川崎市スポーツ・文化総合センター(カルッツかわさき)に於いて、公益財団法人日本民謡協会主催の「民謡民舞全国大会」の熱戦が繰り広げられました。

大江戸支部からは、安来節で高年二部・守屋静子、中年部・私が出場しました。

大会出場は、全国各ブロックで予選会が行われ、そこで出場資格が得られました。

全国大会の開催にあたり、コロナ対策が徹底され、以下の対策が行われておりました。
①入場前のチェックシート
②手指消毒、マスク着用
③検温
④楽屋での地区毎の分散
⑤民舞以外の着替えを禁止し、私服での出演
⑥基本、飲食禁止
⑦唄い手自身のマイクカバリの着脱
⑧出演者の時間差による入場制限等でした。

安来節保存会資格審査に向けて稽古をしてきたことが、この出場につながり嬉しいです。

稽古は、森脇支部長の指導により、江東教室で月三回踊りを除き行っており、月一回の支部定例会でも行っております。

令和四年十二月二十二日には、大江戸支部の「おさらい会」を予定しております。コロナ感染症の対策を十分に行い実施したいと思っておりますので、御覧になりたい方はご連絡ください。



どじょうすくい踊り 発表会の開催



一字川 てい子
(本部道場)

令和四年七月三十一日、東京都立川市女性総合センターアタイムホールにて、第六回安来節保存会どじょうすくい踊り一字川会東京教室発表会を開催いたしました。コロナ対策として、友人、家族のみの観客とし、検温や氏名、連絡先の明記、出演時以外のマスク着用の徹底、飲食なし等を行い、一人も感染者を出すことなく開催できました。開催にあたり、一字川 勤名人の指導と一字楽英紀先生(津山中央支部)の絃の応援をいただきました。プログラムは、どじょうすくい踊り、女踊り、山陰民謡「しげさ節」、地域の踊り「長生きサンバ」、楽器演奏カホンの出演となりました。四つの教室の踊りを見る事ができ、お互いに勉強になりました。何より舞台上で踊る事ができて良かったです。出演者からは、「また頑張りたいです」等の感想がありました。

三年余り、地域のお祭りや新年会、忘年会、福祉施設へのボランティア、各種イベントなどが中止になり、教室も自粛しなければなりませんでした。その間に保存会を退会されたり、病気になるれたり、コロナ感染が怖くて教室にいけないうちにより、会員が随分と減ってしまいました。私は、現在、四カ所の教室に月五回通っております。各教室は、数名ずつとどじょうすくい踊りを伝授していきたいと思っ

令和二年から二年間のくにびき学園生活は安来節の銭太鼓を通じて、



岩佐勝雄 (本部道場)

安来節銭太鼓 クラブと共に



「第6回どじょうすくい踊一字川会 安来節 東京教室発表会」

ております。最近になり、ようやく新しい会員が足を運んでくれるようになりました。その中には、「大手観光会社の海外企画でどじょうすくい踊りを発見し、今度は自分が海外で踊りたい」方や「転倒し、足を切断寸前の怪我から再起し、リハビリの一環として、どじょうすくい踊りを始めた」方、「市のいきいき事業がきっかけで始めた」方など、一人一人の声に励まされている今日この頃です。

学園生の技倆習得と仲間づくりに大いに役立ちました。この学園で学ぶ内容は、地域貢献活動等の人材育成ですが、入学して半年余りの期間は、昼休みの時間を持て余す人が多かったことから一念発起し、法被姿で安来節銭太鼓を披露したところ、昼休みの時間を利用して銭太鼓のクラブ活動をする事に発展し、最終的には私を含めて十三名のメンバーが揃いました。恵まれた施設の和室を利用した昼休み時間は、安来節の唄に合わせた銭太鼓の音と、マスク姿ではありましたがメンバーの笑顔のなかで楽しみの練習時間となりました。

また、年末には宿泊を伴う合宿練習が計画され、まず安来節演芸館で特別公演を見学し、本場の唄や踊り、銭太鼓を堪能しました。その際には、公演出演者の出雲俊之助さん一行と、私たちクラブ会員等で記念写真を撮り、さらに宿泊先の「夢ランドしらすぎ」では、練習状況を「どじょうすくいテレビ」の取材を受ける等、コロナ禍でありましたが感染防止対策をと



安来節演芸館にて



銭太鼓クラブのくにびき学園練習場所



銭太鼓クラブの練習状況

りながら忘年会を兼ねた楽しい時間を過ごし、クラブ会員の絆を一層強めることができました。そして卒園前には、念願でありました銭太鼓のビデオ審査を受け、希望する十人の保存会会員が誕生しました。近年、民謡離れを含め、会員数が減少している中で、次代を担う会員の確保が課題の今日ですが、メディアの協力を得ながら、会員各位の熱意で、保存会の活動は更に充実して行くのではと感じています。

くにびき学園の卒園前に計画されていた文化祭出演は、残念ながら島根県のコロナ感染者の激増に伴い中止となってしまいました。卒園後の九月に玉造温泉で宿泊研修を行い、今後の活動計画と楽しみの懇親会を盛大に行いました。末文になります。私も五十四歳から保存会の会員となり、安来節で得たご縁により、たくさんの方々の出会いを通じて、安来節の魅力を更に広めたいと願うこの頃です。

り組んでいます。また、毎年、移動講習会も行っており、指導部の先生方から熱い指導を受けるとともにお互いの成長の様子を見ることで刺激を受けています。近年はコロナ禍で以前のような状況とはならず、支部総会も三年連続で書面決議のため、このコロナ騒ぎが一日も早く収束し、また会員揃って練習の成果を披露できることを願ってやみません。最後に、ここまで東伯支部として年月を積み重ねてこられたのは、各教室の先生方の人柄と熱心な指導に他なりません。次代を担う会員もどんどん育ってきており、これからも、この支部の活動が盛り上がるよう私達会員が向上心を持って日々の練習に精進したいものです。

支部情報

設立五十年を 迎えて

金居みどり (東伯支部)

東伯支部は、昭和四十七年（一九七二）十二月二十五日に設立し、今年で五十年を迎えます。今年度当初の会員数は、三十七人で鳥取県中部の倉吉市、琴浦町、北栄町の住民を中心に広範囲に亘るため四つの教室で活動しています。

まず、はじめに、この支部は、東伯町公民館（現：琴浦町）で安来節に魅了された人達が集まって楽しみながら三味線を弾き、唄を唄うことから始まりました。その頃に手作りされた会報には、現在も指導して下さっている先生の若々しい写真が載っており、その唄声はいまだに衰えることを知りません。

会員の中には仕事を退職されてから入会された方、学校の保護者会同士の勧誘、あるいは児童、生徒など幅広い年代にわたっており、中には親子三代で入会された方もあります。また、コロナ禍以前に懇親会を開いた際に、たまたま居合わせた方が、その様子を気に入って入会されたという例もあります。

次に、支部として力を入れていくのが全国優勝大会において、あらゆる階級に出場することです。そして入賞者も毎年のように出ています。その一方で、地域において公民館祭等の出演や高齢者施設でのボランティア活動等にも取



安来節保存会東伯支部40周年記念 平成23年8月27日（水明荘にて）

支部 PR 動画を募集します！

安来節保存会は、年々、会員が減少しております。
 会員獲得を目的とし、各支部にて「PR 動画」を撮影していただき、その動画を YouTube の「安来節保存会動画チャンネル」にて、たくさんの方々にご紹介したいと考えております。
 つきましては、下記要領にて募集いたしますので、多数のご応募をお待ちしております。

記

募集期間 常 時

提出方法 当会貸出ビデオ以外は、MP4 形式で USB メモリか SD カードで提出してください。

動画時間 1 支部 3 分以内

動画内容 各支部の紹介、宣伝等（感染対策の上、数名で収録されても結構です）

※撮影の際に必ず含めていただく内容

1. 支部の活動拠点（例：〇〇近郊を中心に活動しております安来節保存会〇〇支部ですなど）
2. 支部の活動内容（例：毎月〇回の練習会、〇月発表会、〇月慰問活動など）
3. 地元方言にて勧誘（例：みなさん、一緒に安来節をやりませんかー。すごく楽しいですよー。みなさまのご参加、お待ちしております。）

↓（島根地域方言にて下例）

みなさん、一緒に安来節をやらんかねー。がいに楽しいけんねー。
 みんなの参加を待ちちょーけんねー。

《注意事項》笑顔で楽しい雰囲気撮影してください。
 動画内にて支部の連絡先など個人情報、言わないでください。

例 文

安来節保存会の安来支部です。安来支部は、島根県安来市近郊で月に 4 回「民謡安来節」教室を開催しております。安来節には、唄、三味線、鼓、どじょうすくい踊り、銭太鼓があり、好きなものを選んで、やってみませんか。運動不足解消、ストレス発散などにも役立ちますよ。

詳しくは、安来節保存会までお問い合わせください。

みなさん、一緒に安来節をやらんかねー。がいに楽しいけんねー。みんなの参加を待ちちょーけんねー。

※東北支部、東京支部、広島東支部は、すでに動画投稿サイト「YouTube」内の安来節保存会動画チャンネルにてご覧になれます。

事務局からのお知らせ

安来節のしおり（令和 4 年度版）に誤りがございました。
 お詫びして訂正いたします。

【訂正】

松山支部 P138

Ⓜ◆師 範 唄 佐伯ヨシ子 → Ⓜ◆准師範 唄 佐伯ヨシ子
 Ⓜ◆師 範 唄 戒能 俊子 → Ⓜ◆熟年師範 唄 戒能 俊子
 Ⓜ◆准師範 絃 佐伯ヨシ子 → Ⓜ◆熟年師範 絃 佐伯ヨシ子

会員の皆様からの具体的な提案や
 建設的なご意見やご要望など、率直
 な声をお待ちしています。お気軽に
 お寄せください。

計 報

神田栄之さん（神戸支部長、八十一歳）
 が令和四年九月二十一日逝去されました。
 神田さんは、今日まで安来節保存会に
 多大なご功績を残されました。
 ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福
 をお祈り申し上げます。

規 約 改 正

この度の規約改正による大きな変更点についてお知らせいたします。

1. 青年会員の追加

青年会員とは、年齢が 16 歳（高校生）になる年から、22 歳になる年までの会員とし、会費は年額 1,000 円となりました。

2. 少年会員の審査規程変更

少年会員のうち、小学生は三段まで受審できるようになり、中学生になる年から、准師範以上を受審できるようになりました。

准師範以上の審査料については、技倆資格者階級設定並びに審査規程第五条に準じます。

— 安来節保存会 大江戸支部 —

♪ 東京より～今日も島根本場の安来節♪
 鼓、三味の音にのり唄に踊り（どじょうすくい）に
 銭太鼓！ さあ、始めてみませんか♪

・令和 4 年 12 月 22 日「大江戸おさらい会」
 御覧になりたい方はお気軽にご連絡ください

大江戸支部長 森脇 忍 (TEL&FAX:03-3615-0888)

感動を呼ぶ 音色と 響き 丹念な加工 調整 仕上げ

省)仁ホ三味線

製造・販売/修理 三味線・鼈甲撥・尺八・太鼓

〒240-0022 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西久保町 197-1

TEL 090(5782)7408 FAX 045(741)4796

HP <http://www.syamisen.com/>